

# SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール  
岩手県立水沢高等学校  
第20号 2020年1月27日 発行

## 東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会

1月24日(金)・25日(土)に山形県立東桜学館高等学校を会場に「令和元年度東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会」が開催されました。今年の発表会には、東北地区のSSH指定校とSSH経験校併せて19校が参加しました。本校からは、2年生11名と1年生15名が参加しました。2年生は、4月から取り組んだ課題研究の成果を発表し、1年生は来年度取り組む課題研究の参考にするために参加しました。

第1日目の24日には、各参加校代表1グループによる19研究の口頭発表が行われました。本校からは2年理数科の佐藤伸さん、折笠このかさん、佐竹泰良さん、高橋健佑さん、横澤和磨さんの5名がステージに登壇し、「カオスによる乱数列の作成と検証」を発表しました。口頭発表終了後には、翌日のポスター発表に参加する36グループが1分間のアピールタイムを行い、研究の概要や意気込みなどを紹介しました。

第2日目の25日には、前日に口頭発表を行った19研究に36研究を加えた55研究のポスター発表が行われました。本校からポスター発表に参加したのは、2年理数科の小沢千星さん、熊谷駿介さん、佐々木陽菜さん、那須川芽衣さんの4名が取り組んだ「pHがポリ乳酸の分解に与える影響」、2年普通科の柴田真帆さん、渡邊小夏さんの2名が取り組んだ「学校統合が進む中でよりよい教育をするには」の2グループでした。どのポスター発表にも多くの聴衆が集まり、活発な質疑が行われました。また、指導助言者の先生方から貴重なアドバイスをいただくこともできました。



「pHがポリ乳酸の分解に与える影響」のポスター発表を行う小沢千星さん、佐々木陽菜さん、那須川芽衣さん



「カオスによる乱数列の作成と検証」のポスター発表を行い、指導助言者の先生からアドバイスを受ける佐藤伸さん、佐竹泰良さん、高橋健佑さん、横澤和磨さん



「学校統合が進む中でよりよい教育をするには」のポスター発表を行い、指導助言の先生からアドバイスを受ける柴田真帆さん、渡邊小夏さん

閉会式では指導助言者を代表して山形大学理学部の栗山恭直先生から講評がありました。栗山先生から次のようなアドバイスがありました。取り組んだことをすべて話すのではなく内容を精選しポイントを明確にすること、定量化や条件制御が不十分なものがあること、継続研究の場合には先輩の研究でどこまで明らかになっているのかを明確にすること、用語には定義があるので定義に基づいて正しく用語を使用すること。先生方からいただいたアドバイスを今後の研究活動に活かしていきたいと思ひます。